

## 平成 28 年度事業報告書

### [1] 「第 44 回徳島新聞奨学生」の選考

第 44 回奨学生は前回と同様に定員（キョーエイ奨学生を含め総数 15 人）を県外、県内大学ごとに文系と理系に分けて設定し募集しました。この結果、11 高校から県外文系 15 人（定員 6 人）県外理系 16 人（同 5 人）、県内文系 6 人（同 2 人）県内理系 9 人（同 2 人）の合計 46 人（昨年 47 人）の応募があり、書類、学力、面接の 3 次にわたって実施した選考試験と、今春の大学入試結果により決定しました。

今年は県外大学文系は内定者 6 人全員が合格しました。県外大学理系は内定者 5 人のうち 3 人が合格。1 人が県内理系に変更して合格。1 人が失敗して県内に変更した補欠者 1 人を繰り上げました。県内大学文系は 2 人が合格しましたが、理系は 1 人が辞退、補欠者 1 人を繰り上げました。この中から県外文、理系各 1 人と県内文系 1 人をキョーエイに推薦しました。

従って合格者は徳島新聞奨学生 12 人とキョーエイ奨学生 3 人を合わせて計 15 人です。今回の奨学生の奨学金支給期間は平成 29 年 4 月から 4 年間、医・歯・薬学部と獣医学部の 6 年制の学部生は 6 年間です。

贈呈式は 3 月 28 日（火）午後 3 時から徳島新聞社 1 階会議室で行いました。

### [2] 「第 22 回徳島障害者芸術祭 エナジー 2016」を開催

4 月 23 日にねっとわーく A s の皆さんと第 1 回の打ち合わせを行い、7 月 16 日の第 2 回会合でポスターのデザインを決めるなどして準備を進めました。作品の応募締め切りは 8 月末でした。

10 月 12 日から 16 日まで県文化の森総合公園の県立近代美術館ギャラリーと 21 世紀館多目的活動室を会場に開催しました。今回 252 人、29 グループ（前年 240 人、32 グループ）から絵画 125 点、書 48 点をはじめ、写真や陶芸、七宝、手工芸などの作品合わせて 281 点（同 272 点）の出品がありました。最終日に美術館ギャラリーで、エナジー大賞（賞金 3 万円）2 人、エナジー賞（1 万円）10 人、審査員特別賞（1 万円）2 人、ねっとわ〜く A s 賞 5 人、人気投票ベスト 5 のかみなづき賞 5 人を表彰しました。

なお、徳島県が認定している「障がい者マイスター」3 人から特別に出品いただき、会場に花を添えてもらいました。

### [3] 「第45回歳末チャリティー作品・色紙即売展」を開催

第45回歳末チャリティーは、12月20日から3日間、そごう徳島店6階大催事場で開催しました。今回は、県内外の著名人172人からほぼ前年並みの456点の絵画、手工芸、サイン色紙が寄せられました。会場での売り上げは、昨年約300万円を下回る約256万円にとどまりましたが、社内販売等を含めた総売上額は323万円と前年比21万円減で、まずまずの数字となりました。

今回、エナジーコーナーに力を注ぎ、エナジー展に出品してもらった県マイスターの作品も小品ながら3点とも売れたほか、エナジー展入賞作品の大作も売れ、合わせて5点86000円売り上げました。ほかには県内女流作家の作品が人気を集めました。

収益金は80万円で前年より18万円減となりました。例年通り徳島新聞社会文化助成金に全額回しました。

次回以降、県内アーティストの発掘に努めるとともに各界著名人、スポーツ関係者らに一層の協力をお願いし、即売展を盛り立てていきたいと思っております。

### [4] 徳島新聞社会文化助成金の贈呈

「平成28年度徳島新聞社会文化助成金」を申請のあった116団体のうち、83団体に贈りました。助成金の総額は656万円で、前年(643万円)より13万円、団体も4団体増えました。

今回は、1月7日に徳島新聞朝刊社告で交付申請を受け付け、2月10日で締め切りしました。この結果、総額1522万3820円(前年1359万6880円)の申し込みがありました。各団体が希望する申請額には及びませんが、できるだけ多くの団体に行き渡るように前年、前々年と比較しながら算定しました。前年に引き続き県福祉基金、県社協から28年度助成を受けた団体には遠慮願いました。また共同募金会から配分を受けた団体は助成額を勘案しました。

原資は厳しい状況にありますが、規定の「地域社会における社会福祉の増進および地方文化の向上を目的とする」を基準に、提出書類を精査。障害者団体、福祉・ボランティア団体、文化振興団体を優先的に助成、初申請団体も注目しました。

### [5] 「第10回徳島新聞佐野健次スポーツ助成金」の贈呈

今回、県内高校12校から14クラブの応募があり、審査の結果、5クラブを助成することになりました。助成額は1クラブ当たり20万円。

この助成金は平成18年5月、虚血性心疾患のため亡くなった故佐野健次氏(当時＝水産高校長・県高体連副会長)の妻貴子さんに拠出いただいた1,000万円を基本金として、平成18年度に設立され、年間100万円ずつ助成する制度です。特に体育教師であった佐野健次氏が、スポーツの振興に尽力されていたことなどから、将来有望な高校生アスリートを支援しようと設けられました。

贈呈式は平成28年6月9日、徳島新聞社で行われました。今回で終了となるため、贈呈式後、植田代表理事から貴子さんに感謝状が贈られました。

受賞された皆さんは、次のとおりです。

#### つるぎ高校男子ソフトテニス部

(前川 和輝 まえがわ・かずき 36人 顧問＝岩本 年章)

推薦者＝伊勢 和彦・つるぎ高校校長

#### 海部高校女子バスケットボール部

(大黒 花 おおくろ・はな 6人 顧問＝川内 哲郎)

推薦者＝後藤 浩代・海部高校校長

#### 名西高校相撲部 (鳥取 連 とっとり・れん 6人 顧問＝岩川 大介)

推薦者＝小川 勉良・名西高校校長

#### 池田高校レスリング部

(元木 雄飛 もとき・ゆたか 23人 顧問＝伊丹 弘)

推薦者＝結城 孝典・池田高校校長

#### 徳島商業高校テニス部

(鎌田 優理 かまだ・ゆり 27人 顧問＝新居 弘行)

推薦者＝永松 宜洋・徳島商業高校校長

(団体名・代表者・構成人数・顧問名の順)

### [6] 「第5回徳島新聞生命科学分野研究支援金」を贈呈

徳島県内の大学生または大学院生を対象に生命科学分野の研究を支援する「第5回徳島新聞生命科学分野研究支援金」の贈呈式を7月19日に行い、徳島大学大学院、徳島文理大学、四国大学大学院の学生・院生による5件の研究に各20万円を贈りました。

応募期間は4月30日―5月31日までとし、支援対象の決定に当たっては、研究に対する情熱・意欲と研究活動資金不足のひっ迫度・緊急程度などを考慮、滝口祥令徳島大学大学院教授らで組織する審議委員会で審査しました。今回、各大学・大学院からの応募は26件(徳島大・大学院21件、四国大大学院1件、徳島文理大・大学院4件)でした。前回の応募は21件。

支援金を受けたのは以下のみなさん。

- ・徳島大学大学院 薬科学教育部 創薬科学専攻 1年  
おかの 裕貴  
岡野
- ・徳島大学大学院 栄養生命科学教育部 人間栄養科学専攻 1年  
ふくだ たいし さいとう ひでき  
福田 泰士、齋藤 豪紀
- ・徳島大学大学院 口腔科学教育部 口腔保健学専攻 2年  
なかむら よしのぶ  
中村 吉伸
- ・徳島文理大学 薬学部 6年  
たけだ まみ  
武田 真弥
- ・四国大学大学院 人間生活科学研究科 1年  
すずき えり  
鈴木 恵理

#### [8] 寄託寄付金の受け入れ

平成28年度は16件2,748,645円の寄託がありました。前年度と比べ寄付者は2団体減ったものの、2個人増え、金額は261,952円増えました。